
「女王の開拓」

ドリーム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「女王の開拓」

【Nコード】

N4003G

【作者名】

ドリーム

【あらすじ】

ある一族は戦いに明け暮れていた。そして最強の巨大な生物が立ちはだかる。その生物とは何者なのか？

我々一族は敵の侵略を受けて、新たな土地を求め旅を続けていた。

それから数ヶ月、やっと我々アミメ一族は安住の地に辿り着いた。一族の女王パローラは早速、部下に偵察に行かせた。土地の質も真に申し分ない。

あとは我々一族がこの土地を開拓し子孫を増やし、安住の地として生きて行かなければならない。

そして偵察隊が帰って来た。偵察隊の隊長ラゲーラは女王に報告した。

「女王様、今のところ敵が潜んでいる形跡はありません」

「うむ。そうあって欲しいものです。ただラゲーラ、警戒はぬかるでないよ。」

我々が開拓し終わった頃に、攻撃されてはたまらんから」

「ハハッー 仰せの通り万全の体制を敷き警備致します」

女王は一族の者に命じた。さっそく土地を開拓して食料を集めるように命じた。

食料を集める者、住処を作る者、警備にあたる者と連日一族は働いた。

それから一ヶ月、やっと落ち着いて女王パローラは安堵した。

「さあ皆の者、あと二ヶ月で冬がやってくる。それまでに沢山の食料を確保する

のだ。大変だろうが頑張ってくれ」

そんな日から一週間、警備員が慌てて隊長のラゲーラに報告した。

「どうしたのだモスクーン。何をそんなに慌てているのだ」

「隊長！ 敵です。それもミカド族とムネアカ族の大群です」

「なに！ あの大型族のか。それはまずい事になった。われ等一族でも彼等には太刀打ち出来ないぞ。とにかく女王陛下に報告しなくては」

「なんと申す！ せっかく安住の地に辿り着けたと云うのに・・・ラゲール何か対策はないのか？」

「はあ・・・まともに戦っては、勝ち目はありません。強敵ですから・・・」

「では又、せっかく落ち着いた土地を捨てて、逃げると云うのか。間もなく冬がやってくる。いまさら出て行くわけには行かぬぞ」

追い詰められたアミメ一族は出て行くも戦うも地獄。絶滅の危機に立たされてしまった。

途方に暮れるラゲール隊長は、ある事を思いついた。

二つの巨大一族が何故、わざわざ遠いこの地にやってくるのか考えた。

もしかして彼等も追われたているのか？ 彼らより強い相手とは、やはりあの超巨大な体と知能をもった一族しかない。

誰もが超巨大な生物に一度嫌われたら、生きて行けない恐ろしい相手だった。

その点ここは奴らの害にならない山の中の平野だ。

ミカド、ムネアカ族もあの超巨大生物で、知恵者に追われ逃げて来たのであろう。

そこで一族の軍師ピカリに相談した。ピカリはある案を出した。

彼等が来る進路に大量の食料を蒔いて方向を、あの超巨大生物の家の下に向かわせる事だった。

早速その提案を実行に移した。旅に疲れ食べ物に苦勞していたミカド、ムネアカ一族は畏に嵌り、超巨大生物の住処近くで超巨大生物

に発見された。

超巨大生物で知患者である者の武器である、蟻駆除殺虫剤で全滅された。

「まったく人間様の住処に侵入する蟻には困ったものだ。全て駆除してやる」

「良くやった。ラゲーラにピカリこれで我々一族は大きな巣を作り食料を蓄えて長い冬を過ごせる。春までは楽園の暮らしが出来るぞ」

「ハハッー 女王陛下。あの巨大な知患者、人間どもにさえ嫌われなければ何も心配はありません。あの人間にさえ逆らわなければ……」

了

(後書き)

アミメ蟻、ミカドオオ蟻、ムネアカオオ蟻、
実際の蟻の種類
です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4003g/>

「女王の開拓」

2011年1月21日02時41分発行